

# 平成24年度水産関係予算概算決定と税制のポイント

## I 燃油価格の高騰が長期にわたっても支援が継続

- 燃油価格が高騰したときに基金から補てん金を交付しています。
- 燃油価格が高止まりした場合でも的確に補てんが行われるよう、変動しやすい現行の補てん基準（2年間平均値×115%）を24年度第1四半期に「7中5平均値×115%」に引き下げます。
- 更に、24年度第4四半期に「7中5平均値×100%」まで段階的に引き下げます。

【漁業経営セーフティーネット構築事業】 19億円（24年度）  
40億円（3次補正）

## II もうかる・がんばる漁業による漁業の収益性向上の加速化

- 高性能漁船の導入等による収益性向上のための取組を支援する「もうかる漁業」及び「がんばる漁業（被災地向け）」の大幅な積み増しを行います。

【もうかる漁業（漁業構造改革総合対策事業）】 30億円（24年度）  
138億円（4次補正）

【がんばる漁業・養殖業復興支援事業】 106億円（24年度）  
818億円（3次補正）

## III 6次産業化や漁村の防災・減災対策のための施設整備を加速化

- 6次産業化等による産地水産業の強化や、災害に強い漁村づくりを支援する強い水産業づくり交付金を大幅に拡充します。

【強い水産業づくり交付金】 45億円（24年度）  
71億円（4次補正）

## IV 軽油引取税と漁業用A重油の税制特例措置を延長

- 漁船の動力源に使用する軽油に係る軽油引取税（32.1円/リットル）の免税措置を3年間延長します。
- 漁業用A重油の石油石炭税の免税・還付措置（2.04円/リットル）を2年間延長します。

## V 東日本大震災からの復旧・復興への切れ目のない支援

- 漁船、養殖施設、加工施設、漁港等の復旧・復興のため、1次補正から3次補正までで7,340億円を確保しました。
- 24年度予算概算決定の843億円を加えて合計8,183億円を措置し、今後も復旧・復興に切れ目のない支援を継続します。